

法人理念 子どもたちの成長を願いながら 共に育つ

支援方針

子ども一人一人を分かろうとする姿勢を大切に、共に経験をしながら、成長を促します。その子に合った将来の自立や生活の基盤作りを目指します。



児童発達支援

営業時間 8:30~17:30 送迎サービス：無

健康・生活

- 子どもの心身の状態把握（生育の状況や家庭的背景など）に努める。
- 生活リズム、生活習慣の形成やその安定に努める。
- 食事、睡眠、排泄、清潔、など身辺自立に向けた支援を行う。

運動・感覚

- 初期感覚の育ちを捉え、感覚統合を狙ったアプローチを中心に体作りをする。
○その子にとっての、快・不快の把握をし、物事の受け入れの幅を広げたり、感じる力を育む。
- 粗大運動・音遊び・感触遊びを通して、四肢を使った運動を中心とした小集団のプログラムを行う。
- 手と目の協応動作など、生活に必要な手先課題の経験を積む。

認知・行動

- 小集団：視覚的に分かりやすい環境設定の工夫（構造化）をし、子ども自身がルールを理解し判断し、行動できる支援をする。物やルールに合わせることや感じる経験を通し、成功体験を重ね、自己調整の力を育む。
- 個別指導：刺激の少ない環境設定の中で、集中して課題に取り組み、物や言葉を介して相手を意識する経験をする。やり取りを通して、手と目の協応動作、言語、数、視空間認識課題など、その子に必要な課題に取り組む。

言語

コミュニケーション

- 非言語ツール（身振りやサイン、視覚支援カードなど）を有効活用し、その子にとって分かりやすい環境作りをする。
- 伝えたい気持ちを育み人とのやり取りの基盤作りとなる経験が出来るよう、様々な場面で丁寧な支援をする。

人間関係 社会性

- 安心して他者と関われるよう、まずは職員との信頼関係の構築に努め、周囲の友達と楽しく関わる経験をする。
- 自分の思いを伝えること、伝わったという実感が持てることや、やり取りによって折り合いをつける経験が出来るよう支援する。

家族支援

- 個別相談
- 母子分離
- 勉強会、交流会

地域支援・地域連携

- 保育所等訪問支援を実施し、担当者と連携を図る。保育所等との併行通所を推進し、インクルーシブの重要性を発信する。

移行支援

- 就学先への情報共有を行う。

職員の質の向上

- 専門指導員との定期的なケースカンファ
- 内部研修（虐待、防災、救命、防犯など）月に1回
- 外部研修（セミナー参加等）

主な行事

- | | |
|--------|-----|
| 運動会 | プール |
| クリスマス会 | 遠足 |
| 卒園式 | など |